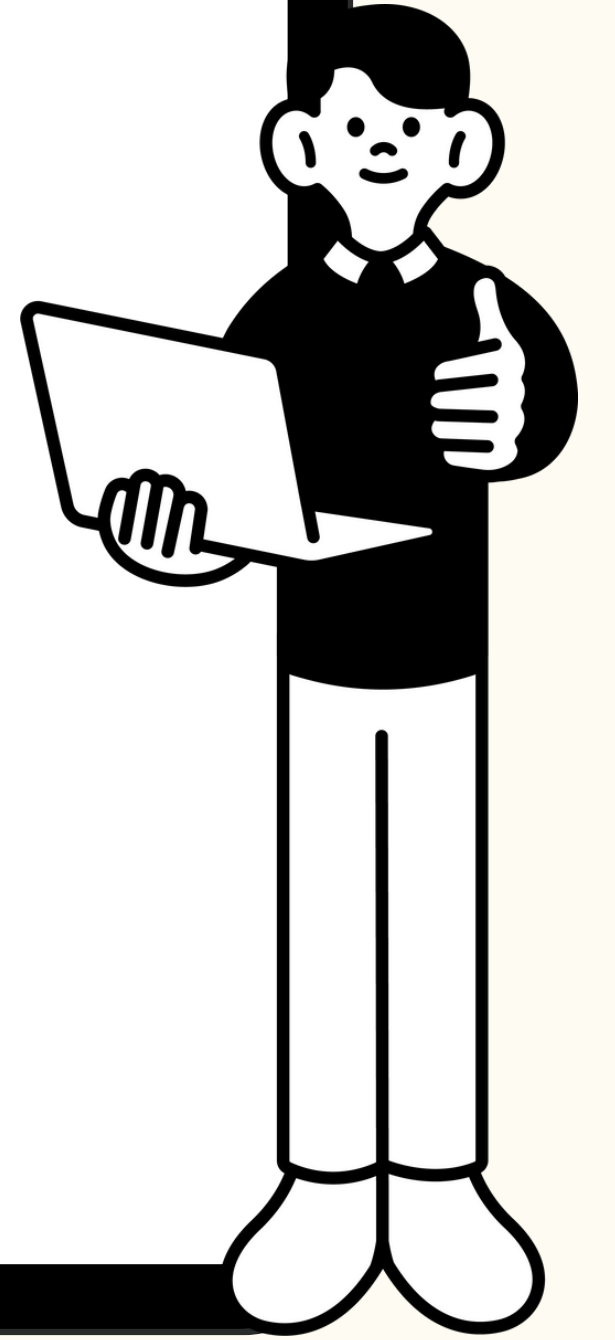
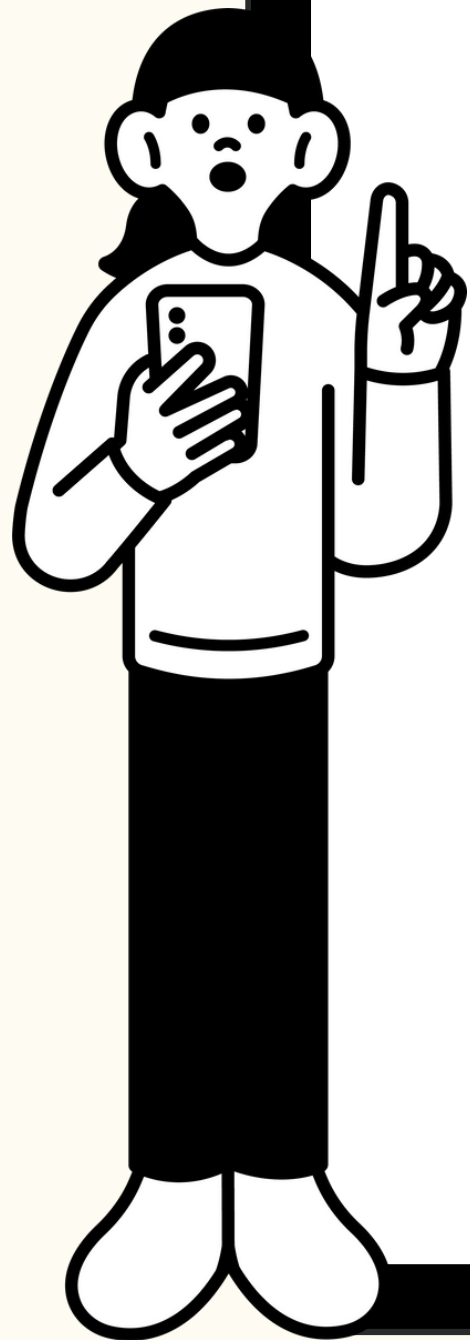


NTT docomo Solutions

セキュリティ教育通信

2026年4月号

NTTドコモソリューションズ株式会社



2026年4月の セキュリティ教育テーマ

日常業務で起こりやすい3つのセキュリティリスクについて、シンプルに分かりやすく学んでいきます。

1つ1つのテーマで『なぜ危ないのか』『どう防ぐか』を具体的に紹介していきます。

1 基本対策 | Basic Countermeasures

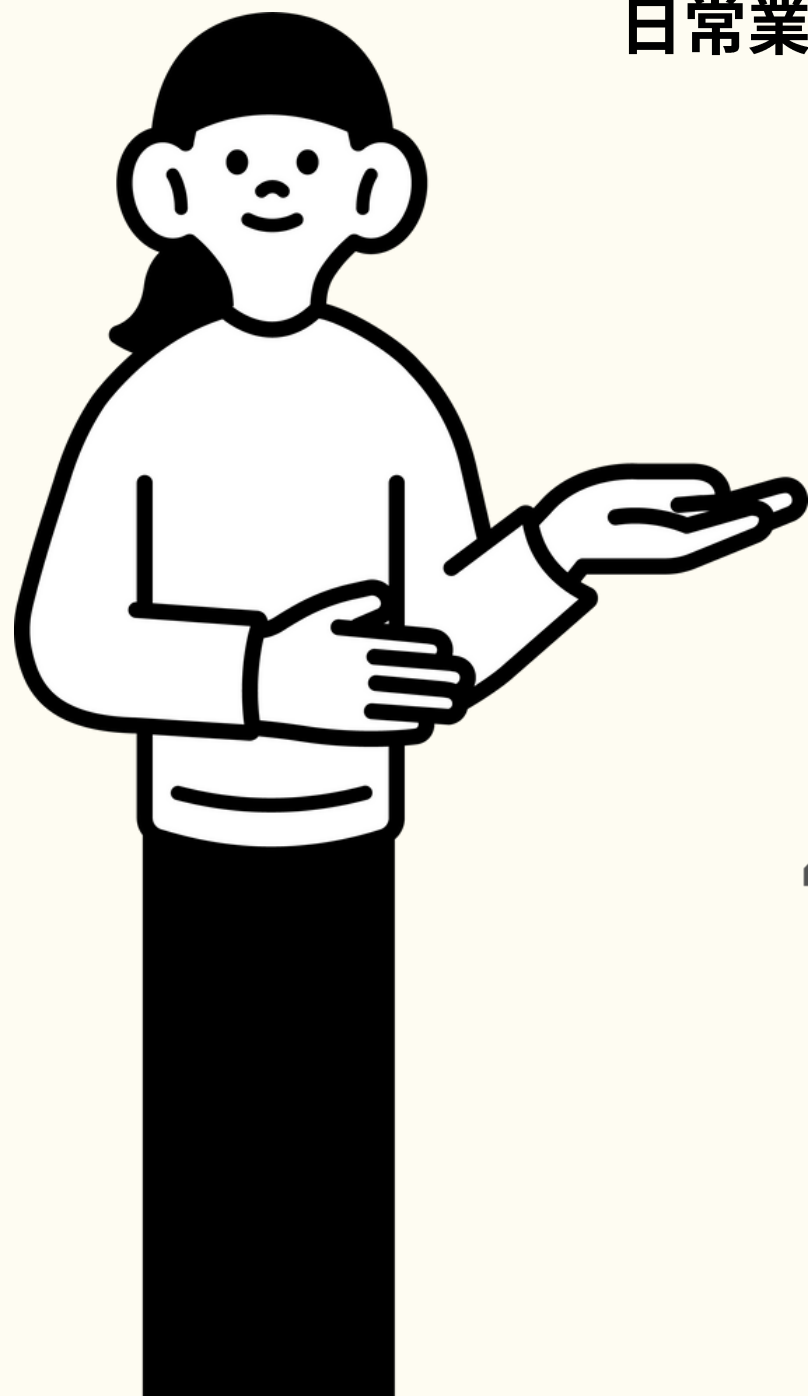
セキュリティは、一人ではなくチームで守る

2 インターネットの脅威 | Online Threats

便利でも危ない個人メールへの転送

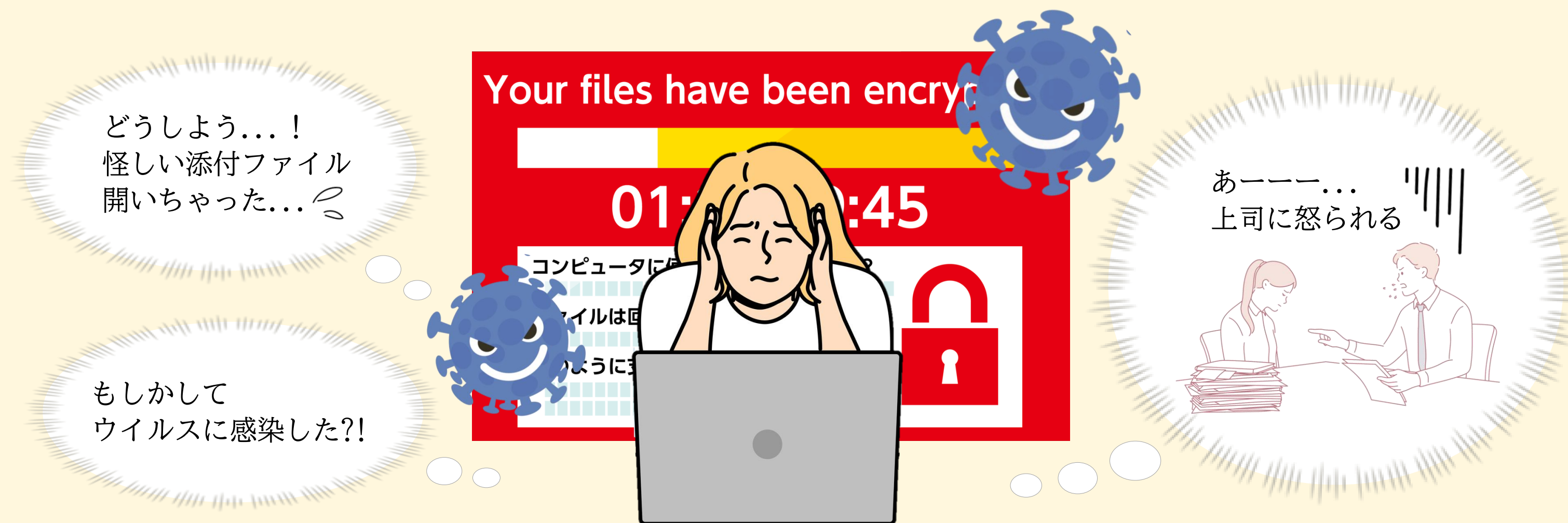
3 季節・社会動向の注意点 | Seasonal Security

新年度に気を付けたい「業務メール」の落とし穴



1. セキュリティは、一人ではなくチームで守る

メールの添付を開いて、いつもと様子が違ったら
あなたはどうしますか？



予期しない出来事が起きた直後、人は冷静に判断できません。

1. セキュリティは、一人ではなくチームで守る



実は、違和感があっても「すぐに報告する人」は **2.1%**[※]にとどまります。

攻撃者が狙うのは、まさにこの“**心の間**”です。
その間に被害は広がります...

※出典 : [Employees open 28% of business email compromise attacks – Learn why and how to boost your security | Microsoft Community Hub](#)

1. セキュリティは、一人ではなくチームで守る

違和感を覚えた時に、いちばん大切なことは

× 「正しく判断すること」ではなく、
◎ 「早く共有すること」です

これがセキュリティ
対応の基本だよ、
覚えておいてね！

POINT



- ✓ セキュリティは 個人の問題ではなく、**組織の問題**
- ✓ **早く知る**ほど、被害は小さくできる
- ✓ 報告が早いほど、責任追及ではなく**対処に集中**できる
- ✓ 報告を受けた場合は、叱責するのではなく**状況の確認**から行う

“隠さない・抱え込まない・一人で判断しない”



1. セキュリティは、一人ではなくチームで守る

いつもと“何か違う”と感じた時の行動チェック

- 気づいた時点で、すぐ共有する
- 「些細なことかも」と自己判断しない
- 一人で解決しようとしなない
- 報告は“責任追及”ではなく“被害を止める行動”だと理解している



報告すること、それが「守ること」への第一歩。
チームで連携して、被害を最小限に抑えましょう！



2. 便利でも危ない個人メールへの転送

社内資料を、個人メールに送っていませんか？



2. 便利でも危ない個人メールへの転送

その行動、**情報漏洩** になっているかも…

リスク01

会社の管理・監視の
範囲外になる



リスク02

端末の紛失・盗難・
家族利用の影響を受ける



リスク03

誤送信のリスクが増える



悪意がなくてもリスクは生まれます。
情報は会社が管理できる場所に置きましょう。

2. 便利でも危ない個人メールへの転送

社内資料の扱いは、次の4点を確認しよう！

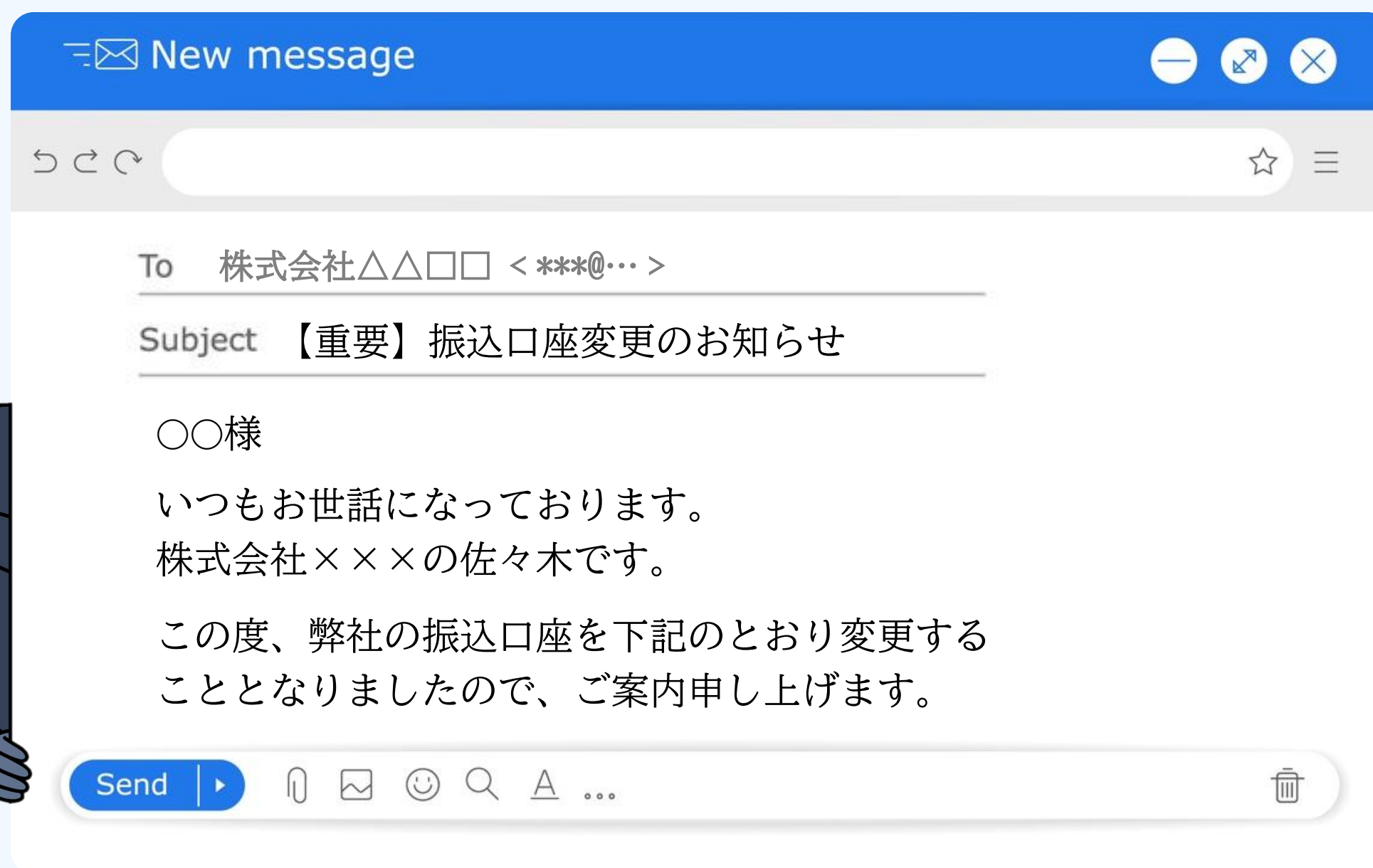
- 社内資料を個人メールに送らない
- 会社指定のツール・環境で作業する
- 一時的でも、持ち出しを自己判断しない
- 迷ったら、上司・管理部門に確認する



目先の便利さよりも、**情報を守ることを優先**しましょう。

3. 新年度に気を付けたい「業務メール」の落とし穴

それは連絡ではなく、**攻撃** かもしれません



3. 新年度に気を付けたい「業務メール」の落とし穴

業務が慌ただしくなるこの時期、
攻撃者も活発に動き始めます



慌てて対応するよりも、**しっかり確認すること**が被害を防ぐ近道。
忙しい時期こそ、焦らず一つひとつ確認しましょう！

3. 新年度に気を付けたい「業務メール」の落とし穴

被害を防ぐ行動は、とてもシンプルです

- メールやSMSのリンクを、すぐにクリックしない
- アカウント変更や設定変更は、公式サイトや公式アプリから行う
- 少しでも違和感があれば、一人で判断せず共有・相談
- 「自分には関係ない」と思わない

安心して新年度をスタートしよう！

